

令和7年度が終わります

校長 武井 正明

3年生が卒業してから、早いもので、もう二週間が経ちます。

「春はセンバツから」という言葉があります。今日から春の選抜高校野球が始まります。わが吉田中の先輩も、甲子園の舞台に立ちます。あの甲子園のバッターボックスに立つ時の気持ちを想像するだけで、ワクワクします。

2年生の皆さんは、修学旅行から早くも1か月が経ちます。終わると早いですね。たった二泊三日の時間が、君たちを大きく成長させたのが、旅行中の様子から見て取れました。



昨日のリーダー研修会も、次年度のスタートに向けて、引き締まった表情が並び、とても頼もしかったです。きっとこの先の1年も、加速度を増して、駆け抜ける1年になると思います。あっというまに新1年生が入学してきます。今から余裕を持って迎えらるるように、気持ちの準備をしておくことです。



1年生の皆さんは、この1年、振り返ってどうですか？



きっと小学校時代とは全然違って、周りの仲間が急速に成長して、自分だけ置いていかれたように環境が激変したと感じた人も、少なくないのではないのでしょうか。

それくらい中学時代というのは、自分の生き方の方向性を定めていく大事な時代なのです。

修学旅行ぐらいまでの時間が、中学時代では最もゆっくり過ぎる時期だと思います。その時期に、じっくり自分の生きる道を考えてみてください。



1年生の姿で、強く印象に残っている姿があります。

卒業式の前日の、3年生の教室を黙々ときれいにしている姿です。限られた人数で、余計な口を利かずに、ただ教室を丁寧に掃除している姿から、君たちの成長を感じずにはいられませんでした。

今日は3学期とともに、令和7年度の締め括りの日でもあります。

君たち1、2年生はこの1年間で、着実に成長してきました。四月から2、3年生です。

教室の階が上がるということは、単に場所が上がるということではありません。

そこから見える景色が変わる、ということです。



人は立場が変わると、同じものでも見え方が全く違ってきます。

そこで大切なのが「相手意識」です。

私は、多くの人たちと関わりながら生きていく現代社会において、この「相手意識」こそ、最も重要な心掛けだと確信しています。



皆さんに新年度求めるものは「相手意識」です。騙されたと思って、心掛けてみてください。勉強よりも大事です。必ずあなたの人生が変わります。

令和7年度お疲れさまでした。新しい年度も、皆でいい1年にしていきましょう。